

4 がん予防 (1)喫煙

■「がん予防」の目指す姿■(第2期計画策定時に設定した目指す姿)
 ○県民が、がんの発症と生活習慣の関係について正しい知識を持ち、がんの発症を予防する努力をしている。また、県民の健康意識が高まり、規則正しい生活習慣を心がけている。
 ○上記の目標を達成するため、県民が、がんに罹患するリスクを理解し、有効な予防法について実践できるようになっている。

分野別施策進捗状況点検シート
 4 がん予防 (1)喫煙
 ①知識普及と意識啓発

○目標のために取り組んだこと(個別施策)の進捗状況

●は中間評価のために追加した指標

主な取組	実績			個別施策の指標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (該当No)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定含む)						
「世界禁煙デー」キャンペーンやイベント、ホームページでの普及啓発	・「世界禁煙デー」大型商業施設等で普及啓発キャンペーンの実施 ・奈良新聞「なら健康だより」での啓発								
喫煙率の高い働き盛り世代(職域)や若い女性向けの普及啓発	・事業所への出前講座(保健所)	・事業所への出前講座 ・全国健康保険協会と連携し、健康保健委員等を対象とした研修会の実施 ・COPD予防講演会の開催 ・がん検診、特定健診の機会を捉えた肺機能測定及び禁煙指導 ・禁煙支援リーフレットの開発	・COPD予防講演会の開催 ・がん検診、特定健診の待ち時間を利用した肺機能測定及び禁煙指導 ・禁煙支援リーフレットの活用促進	成人の喫煙率	<全体14.2%> <男性24.4%> <女性5.3%> (H23度)	全体9.9% 男性18.0% 女性2.8% (H34度)	全体14.6% 男性24.1% 女性6.7% (H27度)	横ばい	(25)
禁煙支援医療機関の情報提供	・奈良県ホームページに掲載・情報更新 ・市町村への情報提供			禁煙支援ができる医療機関を知っている人の割合	H25年度調査	93.2% (H34度)	84.7% (H25度)	-	(26)
禁煙マラソンの実施とPRの強化	・世界禁煙デーや市町村でのイベントの機会を捉えPRを実施 ・禁煙マラソン継続実施、マタニティーコース追加(H25.4~) ・PRカード・チラシ作成、配布			禁煙方法を知っている人の割合	H25年度調査	81.3% (H34度)	73.9% (H25度)	-	(26)
受動喫煙に関する実態調査	・市町村庁舎・議会棟の禁煙状況調査 ・県民の受動喫煙状況調査			日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合	<行政10.6%> <医療3.9%> <職場35.5%> <家庭7.5%> <飲食店42.5%> (H23度)	行政0% 医療12.4% 職場2.6% 家庭14.8% 飲食店14.8% (H34度)	行政10.7% 医療8.1% 職場35.4% 家庭10.6% 飲食店49.0% (H27度)	横ばい	(25)
受動喫煙に関する講演会・研修会の開催	・事業所への出前講座等(保健所)								
「健康なら協力店」充実とPR	・「健康なら協力店ガイドブック」の作成	・健やかネットなら(ホームページ)への掲載							
受動喫煙防止条例についての研究	・先進地(兵庫県)視察	・先進事例の情報収集							
施設の禁煙状況の調査と公表	・市町村庁舎・議会棟の禁煙実施状況調査と報道発表			施設の禁煙実施率	市町村庁舎施設内<79.5%> 県庁舎施設内<100%> 市町村小学校敷地内<93.7%> 市町村中学校敷地内<92.3%> 高等学校敷地内<100%> 医療機関敷地内<49.8%> (H24度)	敷地内禁煙100% (H34度)	市町村庁舎施設内94.9% 県庁舎施設内100% 学校については、教育委員会調査のため、未把握 (H27度)	増加	(27)
利用者がわかりやすい表示の推進	・「健康なら協力店」禁煙推進店認定店にステッカー貼布								
子どもを受動喫煙から守る取組の推進	・県民だより「奈良養生訓」や奈良新聞「なら健康だより」での啓発等 ・妊産婦禁煙支援ガイドブックの作成	・妊産婦禁煙支援ガイドブックの活用促進							
教育機関と連携した喫煙防止教育の実施	・学校と連携した喫煙防止の健康教育研修会の実施(保健所)			未成年者の喫煙率	中学3年生<男子6.5%> <女子2.3%> 高校3年生<男子12.3%> <女子5.3%> (H16度)	0% (H34度)	-	-	(31)
子どもの禁煙支援体制の整備	・未成年者禁煙支援相談窓口の設置(H25.9~)	・未成年者禁煙支援相談窓口の継続							
「妊産婦禁煙支援マニュアル」の配布と妊産婦禁煙指導に関する研修会の開催	・妊産婦禁煙支援ガイドブックの作成、配布	・妊産婦禁煙支援研修会の実施(産科医療機関医師、助産師、市町村保健師等を対象)	・市町村・医療機関での妊産婦禁煙支援ガイドブックの活用促進	妊婦の喫煙率	<5.7%> (H23度)	0% (H34度)	-	-	(32)

目 標	指 標	参考値 ＜計画策定時基準値＞	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
成人の喫煙率の減少	成人の喫煙率	＜全体14.2%＞ ＜男性24.4%＞ ＜女性5.3%＞ (H23度)	全体9.9% 男性18.0% 女性2.8% (H34度)	全体14.6% 男性24.1% 女性6.7% (H27度)	横ばい	(25)
日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合の減少	日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合	＜行政10.6%＞ ＜医療3.9%＞ ＜職場35.5%＞ ＜家庭7.5%＞ ＜飲食店42.5%＞ (H23度)	行政0% 医療0% 職場12.4% 家庭2.6% 飲食店14.8% (H34度)	行政10.7% 医療8.1% 職場35.4% 家庭10.6% 飲食店49.0% (H27度)	横ばい	(25)
未成年者の喫煙率を0%にする	未成年者の喫煙率	中学3年生 ＜男子6.5%＞ ＜女子2.3%＞ 高校3年生 ＜男子12.3%＞ ＜女子5.3%＞ (H16度)	0% (H34度)	—	—	(31)
妊婦の喫煙率を0%にする	妊婦の喫煙率	＜5.7%＞ (H23度)	0% (H34度)	—	—	(32)

喫 煙 進捗状況概要	<p>○成人の喫煙率の減少に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所での出前講座や機会を捉えた啓発の取組、インターネットを活用しての禁煙マラソンの取組など様々な取組を推進。平成26年度にはソーシャルマーケティングの手法を用いて喫煙者に禁煙を促すための「禁煙支援リーフレット」を開発。平成27年度は、特定健診やがん検診で配布するなど、市町村での禁煙指導の充実を図っている。 公共の「施設の禁煙実施率」は上昇しており、市町村庁舎で建物内禁煙の措置がとられていない市町村は2市町のみ。 「成人の喫煙率」「日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合」は、横ばい傾向。 市町村立の小学校、中学校の敷地内禁煙実施は、平成28年4月から100%実施となる予定(奈良県教育委員会調べ)。 <p>○未成年の喫煙に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 未成年者禁煙支援相談窓口を設置し取組を継続し実施。 <p>○妊婦の喫煙に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦の禁煙支援者のために、ガイドブックを作成し、活用促進のための研修会を継続し実施。 <p>(たばこ対策推進委員会からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦の喫煙率の実態把握が大事である。今後、市町村等と協議し調査方法等について検討が必要。 作成したリーフレットは、奈良県医師会、奈良県歯科医師会の協力のもと、受診者へ配布するなど、配布方法の検討必要。 禁煙支援体制を充実・強化するため、地域の薬剤師などの新たなキーパーソンと連携する必要がある。
---------------	--

指標について 気づいた点	<ul style="list-style-type: none"> 各指標の目標達成のためには、より一層充実したたばこ対策事業の推進が必要。
-----------------	--

4 がん予防 (2) 食生活等の生活習慣

■「がん予防」の目指す姿■(第2期計画策定時に設定した目指す姿)

○県民が、がんの発症と生活習慣の関係について正しい知識を持ち、がんの発症を予防する努力をしている。また、県民の健康意識が高まり、規則正しい生活習慣を心がけている。

○上記の目標を達成するため、県民が、がんに罹患するリスクを理解し、有効な予防法について実践できるようになっている。

分野別施策進捗状況点検シート
4 がん予防 (2) 食生活等の生活習慣
① 食生活

○目標のために取り組んだこと(個別施策)の進捗状況

●は中間評価のために追加した指標

主な取組	実 績			個別施策の指標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定含む)						
【食生活】 子どもから高齢者までの食生活改善のための食育活動推進	<ul style="list-style-type: none"> 県内大学と連携した食育講座の開催 食育イベント等の開催(保健所) 妊産婦及び幼児の栄養・食生活パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 4部門(小学生・中学生・高校生・一般)でのコンテストを実施(応募総数687) 子育て世代に減塩を普及するためのツールの開発(減塩紙芝居・リーフレット・減塩ソング) 高血圧の人のための減塩教室実施マニュアルを開発 県内大学と連携した食育県民講座の開催 食育イベントの開催(保健所) 妊産婦及び幼児の栄養・食生活パンフレットの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 4部門(小学生・中学生・高校生・一般)でのコンテストを実施(応募総数1,024) 子育て世代を対象に減塩を普及するため、「げんき減塩フェスタ」を県内5カ所で開催 減塩教室実施マニュアルを活用した減塩教室を開催(御所市・斑鳩町・下北山村) 県内スーパーでの減塩ソングの活用(展開(イトーヨーカドー・近商等)) 奈良の食育未来事業 	食生活について学んだことを実践している生徒の割合	<中学22.0%> <高校18.3%> (H23度)	増加	—	—	(33)
				成人の1日野菜摂取量の平均	<男性313.1g> <女性279.3g> (H23度)	350g (H34度)	—	—	(28)
				1日5皿以上の野菜を食べている人の割合	<青年期26.8%> <壮年期34.8%> (H19度)	青年期33% 壮年期40% (H29度)	青年期21.5% 壮年期30.4% (H23度)	減少	(28)
				成人の1日食塩摂取量の平均	<男性11.6g> <女性10.1g> (H23度)	8g (H34度)	—	—	(28)
【食生活】 食に関わる専門職やボランティアによる普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> バランスの良い食生活の実践について普及啓発 父と子、親子料理教室、男性料理教室の開催 >	<ul style="list-style-type: none"> 市町村及び食生活改善推進員が減塩紙芝居、リーフレット等を活用 	果物摂取量100g未満の人の割合	<54.0%> (H23度)	30.0% (H23度)	—	—	(28)
【食生活】 県ホームページによる情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 高校生、大学生を対象とした基本調理の動画の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する情報発信 >	成人の1日脂肪エネルギー比の割合	25%以上 <男性57.6%> <女性63.3%> (H23度)	25%未満 (H34度)	—	—	(28)
【食生活】 「健康なら協力店」の充実・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 新規参加店の拡大 既存店舗への支援 >>	健康的なメニューを提供する店舗等の数	<113店舗> (H23度)	280店舗 (H29度)	112店舗 (H26度)	減少	(29)
【飲酒】 県ホームページによる情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 「健やかネットなら」に生活習慣病のリスクを高める飲酒量について掲載 >>	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合	<男性15.6%> <女性11.7%> (H23度)	男性13.3% 女性9.9% (H34度)	男性12.8% 女性6.4% (H27度)	減少	(25)
【運動習慣】 働き盛り世代への運動紹介やきっかけづくり、参加機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 橿原健康ステーション設置・運営 1/29～ 健康ステーション及びおでかけ健康法実践セミナーで普及(12回) 	<ul style="list-style-type: none"> 王寺健康ステーション設置・運営 9/1～ 健康ステーション及びおでかけ健康法実践セミナーで普及(10回) 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村等の健康ステーションの設置を支援(補助制度の創設H28～) 健康ステーション及びおでかけ健康法実践セミナーで普及(4回) 	運動習慣者の割合	<男性31.2%> <女性28.7%> (H23度)	男性42.0% 女性39.0% (H34度)	男性33.2% 女性35.5% (H27度)	増加	(25)

○目標(主に中間評価の時点で協議会で設定した目標)の進捗状況

目 標	指 標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No.)
成人の1日野菜摂取量の平均を350g以上にする	成人の1日野菜摂取量の平均	<男性313.1g> <女性279.3g> (H23度)	350g (H34度)	—	—	(28)
成人の1日食塩摂取量の平均を8gにする	成人の1日食塩摂取量の平均	<男性11.6g> <女性10.1g> (H23度)	8g (H34度)	—	—	(28)
成人の1日果物の摂取量の平均を100g以下の人の割合を減らす	成人の1日果物の摂取量の平均	<46%> (H23度)	70% (H34度)	—	—	(28)
成人の1日脂肪エネルギー比の割合を25%未満にする	成人の1日脂肪エネルギー比の割合	25%以上 <男性57.6%> <女性63.3%> (H23度)	25%未満 (H34度)	—	—	(28)
生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の減少	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合	<男性15.6%> <女性11.7%> (H23度)	男性13.3% 女性9.9% (H34度)	男性12.8% 女性6.4% (H27度)	減少	(25)
運動習慣者の割合を増やす	運動習慣者の割合	<男性31.2%> <女性28.7%> (H23度)	男性42.0% 女性39.0% (H34度)	男性33.2% 女性35.5% (H27度)	増加	(25)

食生活等の生活習慣 進捗状況概要	<p>○食生活に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1日5皿以上の野菜を食べている人の割合」「健康的なメニューを提供する店舗等の数」については減少している。その他の指標については、平成28年度に「県民健康・食生活実態調査」を実施し、進捗を評価することとしている。 ・平成25年度に健康寿命に寄与する要因を分析。その結果、食塩摂取量の目標値達成(H34年8g)は、男性2位、女性1位で健康寿命に寄与することが判明。このことから、平成26年度には減塩を普及するためのツールを開発。平成27年度は、それらのツールを活用した事業を展開している。また、減塩の取組と共に、野菜摂取の促進も同時に推進している。 ・平成27年度は、奈良の食育未来事業として、奈良女子大学・帝塚山大学の学生が食生活の重要性を県民に普及。食育推進は、県が市町村、ボランティア、大学生等と連携・協働し、実践できている。 <p>○飲酒に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合」は減少している。 <p>○運動習慣に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「運動習慣者の割合」は増加している。 ・運動習慣者を増やす取組としては、橿原市・王寺町に奈良県健康ステーションを設置し、おでかけ健康法(1日8,000歩、うち中強度の運動20分以上)を普及している。 <p>(今後必要な取組等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに食に関する取組を推進するためには食生活の実態把握が必要。 ・2つの健康ステーションの利用者は増加したが、今後は、県民が身近な場所で健康づくりに取組むことができるよう、市町村での健康ステーション設置促進が必要。
---------------------	--

指標について 気づいた点	
-----------------	--

4 がん予防 (2) 食生活等の生活習慣

④ 持続感染予防

■「がん予防」の目指す姿■(第2期計画策定時に設定した目指す姿)

○県民が、がんの発症と生活習慣の関係について正しい知識を持ち、がんの発症を予防する努力をしている。また、県民の健康意識が高まり、規則正しい生活習慣を心がけている。

○上記の目標を達成するため、県民が、がんに罹患するリスクを理解し、有効な予防法について実践できるようになっている。

○目標のために取り組んだこと(個別施策)の進捗状況

●は中間評価のために追加した指標

主な取組	実 績			指 標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定含む)						
子宮頸がん予防(HPV)ワクチンの普及啓発	・H25年4月定期接種化 ・H25年6月国が積極的観賞を控えるよう呼びかける ・子宮頸がん検診の普及啓発			肝炎ウイルス検査件数	<5,863件> (H22)	増加	10,461件 (H26)	増加	(34)
肝炎ウイルス検査の普及啓発・情報提供	・新聞広告において受診勧奨 ・受検勧奨用ポスターの作成 ・肝疾患相談センター継続 [拠点病院(奈良県立医科大学附属病院)]		・重症化予防(フォローアップ・精検等無料)事業開始						
HTLV-1(相談・フォロー体制の整備・普及啓発)	・母子感染予防対策検討会開催(1回) ・母子感染予防対策研修会開催(1回) ・「医療関係者のためのHTLV-1検査妊産婦支援 Q&A」作成 医療機関市町村への配布	・母子保健運営協議会の中で母子感染予防対策について協議 ・医療関係者等相談支援技術向上のための研修の実施							

○目標(主に中間評価の時点で協議会で設定した目標)の進捗状況

目 標	指 標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
(1) がんの予防知識の普及	●肝炎ウイルス検査精密検査陽性者数	B肝+C肝 35件 (H22)	-	B肝+C肝 48件 (H26)	増加	(34)
(2) 必要とする最新の情報を正しく提供できている活用しやすい相談支援体制を実現している						
(3) 活用しやすい相談支援体制を実現している	●抗ウイルス治療公費負担申請者数(抗ウイルス治療受給者数)	B肝+C肝 1,202件 (H22)	-	B肝+C肝 1424件 (H26)	増加	(34)
(4) がんを予防する習慣づけや必要な対策を実践している						
(5) がん予防の普及によりがんの罹患率が減少する	がん年齢調整死亡率	<87.5> (H19)	20%減少 (H29)	78.2 (H25)	減少	(15)

持続感染予防 進捗状況概要	<p>○子宮頸がんワクチン ・現在、子宮頸がんワクチンの健康被害の問題があるため、国の動作に注視しているところ。</p> <p>○肝炎ウイルス検査 ・C型肝炎が完治する時代になり、検診受診率向上の取組を強化し、拠点病院とともに推進。</p> <p>○HTLV-1 ・母子感染予防対策となる検討会や研修会を実施。</p>
------------------	---

指標について 気づいた点	
-----------------	--